

令和6年度「喫煙に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q7 で、喫煙に関する情報発信について、不足していると感じる内容に関する質問で、いずれも昨年度と横ばいの結果だったことを踏まえ、広報発信の対象者を明確にするなど工夫が必要と考えました。なお、既に禁煙・受動喫煙の啓発強化として、人通りが多い駅周辺での路上喫煙のパトロールを強化しています。

また、受動喫煙防止の観点からも喫煙率の低下が目標（第3期 健康横浜 21（※）の指標・目標値設定）であることから、禁煙支援についても推進していきます。

（※）第3期健康横浜 21（令和6年5月改定）

第3章 市民の行動目標と取組 3（3）喫煙

https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/kenkozukuri/21/naiyo/3rd/kaitei.files/03_03_03.pdf

2 アンケートを実施した感想

Q5 で、喫煙等に関するルール（吸い殻等ポイ捨ての禁止、歩きたばこをしないよう努力する義務、喫煙禁止地区、受動喫煙に配慮する義務など）の情報はどこで収集したかに関する質問で、「イ 駅前等での啓発活動における声掛け」を選択回答した方が前年度よりも約7%増の結果になりました。この啓発活動は地域の方も一緒に行う活動の1つでもあるため、実施してきた結果が評価されたことは嬉しく思います。引き続き、今後の啓発活動にも活かして継続していきます。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、「喫煙に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。設問への回答のほか、Q21 で横浜市の喫煙対策に関する取組に対する自由意見でも非常に多くのご意見をいただき、あらためて市民の皆様の喫煙や受動喫煙に対する関心が高いことを感じました。いただいたご意見を参考に今後も喫煙ルールの周知徹底、マナー向上に取り組んでいきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

また、本市では、今年4月から公園の全面禁煙も開始しました。喫煙を取り巻く環境が変わる中で、屋外の受動喫煙対策の強化に向け、SNSや街頭広告など様々なシーン・媒体での広報・啓発を強化する予定です。

今後も引き続き、本市の受動喫煙防止に関する取組について、ご理解とご協力をお願いします。

担当：健康福祉局健康推進課、資源循環局街の美化推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。